

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2005-47896(P2005-47896A)

【公開日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-008

【出願番号】特願2004-196172(P2004-196172)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 47/26

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月19日(2007.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は新規な抗クラミジア組成物に関するものである。本発明による抗クラミジア組成物は、有効成分であるインターフェロンとヒドロキシ安息香酸及び/又はヒドロキシケイ皮酸との併用による相乗効果により、抗クラミジア活性が顕著に高められているうえ、生体に対する毒性が低く、生体内における持続性に優れるので、注射又は経皮、経粘皮、経鼻腔若しくは経口経路などにより、生体に適用することによって、クラミジアの増殖を効果的に抑制することができる。